

西伊豆健育会病院 宇都宮 幸代(外来 看護師)

- 功 績** これまで課題となっていた小児の救急対応について、使いやすいように物品を整備し、また誰が見ても分かる「小児救急対応一覧」を作成し、スムーズ且つ迅速に救急対応できるようようになった功績
- 推 薦 者** 仲田 和正
- 推 薦 理 由** これまで小児診療は専門外の意識が強くありましたが、宇都宮が作成してくれた「小児救急一覧表」のおかげで、自信を持って小児に対応できるようになりました。今回、救急外来の見直しをし、医療の質の向上に大きく貢献した宇都宮を理事長賞に推薦いたします。

内 容

今年、当院は30周年を迎えます。理事長から引き継いだ「救急患者は断らない」ことを現在も継続しています。患者を全て受け入れるために、診療の質を維持し、更に向上させるための勉強会は医師だけでなく、看護師、コメディカルにも根付いてきました。

しかし、これまで小児疾患の知識を得る機会が余りなく、当院の弱点でもありました。昨年、小児科専門医が地域医療を学びたいと研修に来ました。率先して小児の診察、救急対応の知識を医師や看護師に伝授してくれ、とても勉強になりました。その医師から研修終了時に、小児の救急対応が迅速にできるよう救急外来の見直しを提案されました。

見直し作業の中心となったのが外来看護師の宇都宮です。宇都宮は今年10年目の看護師で、初期研修医の指導役も担ってくれて助かっています。宇都宮はまず、小児救急に必要な物品の確認をしました。小児救急の件数は多くないので、購入よりも既存物品の配置を変える等の工夫をしました。一番の改善点は、実際に小児の患者が搬送されてきた時の対応一覧です。簡単なフローチャート式の対応表がありましたが、使いにくく活用されていませんでした。小児といっても年齢の幅があり、使用する薬剤の量も年齢や体重毎に違います。宇都宮は救急対応時に即役立つ、一目みて分かるものを作りたいと考え一覧表を作成しました。(※資料参照)

完成した一覧表は新生児-乳児(0ヵ月-2ヵ月)から始まり、学童(9歳-10歳)まで年齢が細分化され、色でも可視化されており、非常に見やすく使いやすい表です。緊急時には考えている時間が惜しいので、私達常勤医だけでなく、初期研修医にも「すごく使いやすいです」と大好評です。どうして、これまで作成しなかったのだろうと、目から鱗の表です。